



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 第 3 回山形県林業労働安全大会開催 | 4. 林野庁木材利用課事例集 |
| 2. 耐震博 2017 出展 夢メッセみやぎ | 5. 林業まつり実行委員会開催 |
| 3. バイオマス発電に総務省行政評価公表 | 14. 6 月住宅着工状況 |



1 第 3 回山形県林業労働安全大会開催!! (木産協素材生産部会)

7 月 14 日 (金) 新庄市石川町の「雪の里情報館」にて、第 3 回山形県林業労働安全大会が開催され、木産協加盟事業所などから約 120 名が参加し、林業労働災害の未然防止について対応策などを確認した。阿部昭理事長が「林業の現場で、悲惨な死亡労働災害を絶対起こさないために、さらなる意識の高揚を目指していきたい。」と挨拶した。始めに安全祈願として戸沢神社日下樹一神主による御神事が執り行われ、代表として理事長が玉串奉奠を行い、全員がお祓いを受けた。



大会は、地域議員協議会と日程が重なったこともあり、県議会議員と県幹部の出席が見送りとなったが、中国出張中の衆議院議員の加藤鮎子氏の秘書の市村浩一様、新庄労働基準監督署署長松岡隆夫様、東北森林管理局山形森林管理署最上支署長中尾昌弘様、最上総合支庁産業経済部森林整備課課長梅津勘一様の代理で林政主査井上一馬様からご祝辞をいただいた。また、林業・木材製造業災害防止協会山形県支部新庄分会長古澤友一氏も来賓として出席いただいた。

ご来賓祝辞の後、2つのご講話をいただいた。最初に、新庄労働基準監督署労働衛生専門官菅野雄一氏からは「林業労働災害の防止について」と題し、必要な手順を省略しないことや熱中症対策の徹底を訴えた。次に、東北森林管理局山形森林管理署最上支署長中尾昌弘氏が「林業・木材産業の動向等について」と題し、最新の情報をご教示いただいた。

次に、安全ビデオ研修では「被災者の早期救助のために」と題し、現場での初期対応や搬出方法、連絡手段など平日頃心がけておきたい内容を共有できました。

最後に、木産協青年部の結城貴宏氏の音頭で、平成 29 年度の安全スローガン◎林材業労働安全標語「余地の目で 早めに摘み取る 危険の芽」と◎林材業労働衛生標語「健診で 自分がわかる 変えられる。」を全員で唱和し、労働安全を誓い合った。

追記 : 大会開催にあたり、会場準備や駐車場管理、大会運営等にご協力をいただいた小関興業さん、遠田林産さんの会社の皆様に感謝申し上げます。



2 耐震博2017 夢メッセみやぎ に出展!

7月8日(土)、9日(日)に、仙台市の「夢メッセ」で開催される耐震博覧会と同時開催の「木と住まいの大博覧会」にて山形県ブースを設け、積極的に県産木材を仙台圏にPRしてきました。2日間の来場者数は1万8千人で、山形県からも多くの方々からご来場いただきました。今年は、本県ブースが例年の1.2倍のスペースを確保するとともに、メイン通路側を押さえたこともあり、来場者にはわかりやすいPR効果の高い場所を手に入れることができました。出展内容については、山形県産木材の良さをPRするパンフレットの配布(木産協)や県産広葉樹を利用したフローリング材・壁材の展示・触感体験(アイタ材木店、アイタ工業)、県産スギ材(A材)を梁あらわし等で多用している和風構法在来軸組躯体展示(沼澤工務店)や家具・木工品の展示販売(家具工房モク、杉山木工)、ペレットストーブの展示(山本製作所)、スギの圧密加工された曲線型手すりの展示(クネット東北)、県産ブナ・サクラで製作された競技用けん玉の販売・パフォーマンス(スパイクファミリー)、県産ミニ盆栽の展示販売(趣味処「たくみ」)、積み木コーナー(木産協)等を揃えたところです。会場には、東北各県の県木連ブースや、神代杉の展示、「南三陸さんさん商店街」の躯体展示、CLT展示コーナー、ソムリエコーナー(木の魅力やメリットを体感しながら知ってもらおう)や木育コーナー、ガーデニングコーナー、耐震診断コーナー、木工クラフトコーナーのほか最新鋭の住宅機器等が展示されていました。また、大学の研究最新情報の紹介コーナーも設けられ、山形大学の芦谷竜矢教授が参加しておられました。特別講演では、東京大学名誉教授の有馬先生が「健康に暮らせる住まいと木の魅力」と題して講演し、その後本県ブースにも立ち寄られ、無垢の建築について意見交換もできました。

また、本県は、今年もディスプレイ部門で銀賞を受賞し、相田吉則副理事長が二日目朝の授賞式に参加いただきました。

大変お忙しい中、また暑い中準備等ご協力をいただいた関係各社特に沼澤工務店様には2日前からの搬入と遅くまでの撤去を含め厚く感謝申し上げます。

また、県庁林業振興課や建築住宅課幹部の皆様のご来場とご協力に感謝申し上げます。



3 木質バイオマス発電に総務省が行政評価・監視！

7月4日、総務省が、森林の管理・活用に関する行政評価・監視を公表した。木質バイオマス発電分野については、21発電設備、燃料調達98ルートに調査が行われ、燃料チップを計画通り調達できない事例が9事例あったこと、木質バイオマス証明ガイドラインに沿った適切な証明が行われていない事例が61ルート確認された。内訳は、素材生産業者が、本来一般木質バイオマスであるものを間伐材等由来として証明し、チップ加工業者から発電設備に納入されたもの。（2ルート）チップ加工業者が、必要な証明書等入手せず、または必要な証明書を作成せず一般材や間伐材等由来のバイオマスとして発電施設に納入されたもの。（29ルート）素材生産業者から、必要な証明書等の提出はあったものの、記載内容が不十分で伐採箇所を特定できなかったもの。（30ルート）このため、適切な調達価格が適用されるよう、木質バイオマス証明ガイドラインの周知徹底を図ることを総務省から農林水産省と経済産業省へ伝えられた。また、木質バイオマス証明ガイドラインの証明の確認について実効性のある措置を講じることにしています。今後、具体的な対応策について検討し、平成30年1月頃公表予定。

4 林野庁木材利用課が木材利用優良施設と輸出取組事例集を発行！！

「公共建築物における木材利用優良事例集」と「林産物の輸出取組事例集」～日本産木材を世界へ～の2冊を紹介しします。また、「公共建築物における木材利用優良事例集」には、鶴岡市立朝日中学校とシェルターなんようホール（南陽市文化会館）の二つの木造公共施設が紹介されています。

鶴岡市立朝日中学校は、地域産材の良さと大工等職人技術を活かした地域のシンボリックな公共建築物を目指し、分離発注方式で調達した樹齢80年の市有林等を利用しています。

シェルターなんようホールは、全国初となる大型木造耐火による文化ホールで、大ホールは1,403人収容の国内最大規模となっています。ギネス世界記録「世界最大の木造コンサートホール」や全国木材利用優良施設「林野庁長官賞」、「全日本建設技術協会賞」等を受賞しています。

また、「林産物の輸出取組事例集」～日本産木材を世界へ～には、米沢市ニューテックシンセイの木製知育玩具モクロックと長井市(有)山形工房の競技用けん玉「大空」の2木製品が紹介されています。



MOKUROCKは山形県産の未利用材（サクラ、カエデ、カバ、ケヤキ、ホウ、シデ等）を使用し、本来業務の精密加工機械技術を生かし無垢材から削り出して商品を製作している。現在では、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、台湾、韓国に輸出しているほか、海外の展示会にも定期的に出展しています。

競技用けん玉（玉がヤマザクラで、受けがブナ材）は県産材を利用した日本けん玉協会認定の「大空」さくらシリーズ等で国内7割のシェアを持っています。けん玉がパフォーマンスのアイテムとして使われるようになり、海外での需要ができたため、アメリカを中心にヨーロッパ、アジア各国に5,000個が輸出されています。今回、仙台夢メッセの耐震博にも出展していただきました。

5 第 27 回山形県林業まつり実行委員会開催！

7 月 25 日 (火) 村山総合支庁 603 会議室で、第 27 回山形県林業まつり実行委員会が開催され、行政関係機関、関係団体など県内各地から 35 名が参加し、本年度の実施体制、開催要領、開催内容が決定された。実行委員長には森林協会の細野会長が、副委員長には当組合の阿部理事長等が就任したほか、事務局長に木産協鈴木専務が承認され、例年どおり木産協が中心となり組織されることになった。



開催期日は 10 月 14 日 (土) 12 時～16 時、15 日 (日) 9 時～15 時で、会場は、山形県総合運動公園第二南駐車場特設会場 (天童市) と決定した。なお、当林業まつりは山形県農林水産祭の一環として実施し、併催の「秋の食彩まつり」と連携を図るほか、「山形県エコイベント指針」に基づき、環境に配慮することとした。

主な開催内容として、合法木材・JAS 製材品・県産認証木材の実物展示やパネル展示、「やまがた森林ノミクス」の取組や成果の展示、やまがた緑環境税関係コーナー、地域材を活用した住宅構造躯体の展示、木質バイオマス関連コーナー、企業等の森づくり活動の PR、県農林大学校林業経営学科と青年林業士活動の PR、木材関連の新技术や製品、仕組みの PR、山の日関連展示、その他木に親しむ体験をするコーナーや青空木工教室、チェーンソーアート、高性能林業機械展示、住宅建前神事や餅撒き、児童木工工作コンクール表彰・展示、特用林産物販売などを予定しています。



また、昨年度開催時の注意点として、安全管理の徹底として消火器の設置等厳守と臨時飲食店営業許可申請の変更、警備員の増強、洗い場の徹底、女子トイレの課題などが報告され、意見交換を行いました。

皆様からは、例年どおり出展申込みと協賛広告申込み等ご協力をお願いします。

6 木産協青年部研修会開催！

7 月 11～12 日第 3 回山形県木材産業協同組合青年部研修会が北村山・最上地域で開催された。

視察先は、おいしい山形空港 (内装木質化モデル展示)、やまがたグリーンパワー(株)



(木質バイオマス発電所)、協和木材(株) (大型集成材工場) の 3 か所で、各施設の代表者から概要等説明を受けた。参加者 15 名が熱心な質疑応答を繰り返した。また、協和木材(株)の会議室をお借りし、講師の金山町森林組合参事狩谷健一氏に



による「金山町林業成長化産業地域モデル事業の概要」と題しご講演をいただいた。これらの研修等を受け、本県木材産業会の次代を担う青年部の熱き討論は会場を移し、夜遅くまで続いたようだ。



7 長井市に木質バイオマス発電所完成!!

7 月 12 日 (水) 長井市寺泉地区に発電規模が概ね 1,990kw の木質バイオマス発電所が完成した。式典では、県、市、関連業者など約 100 名、当組合からは理事長代理として沖田洋元理事が出席した。NK C ながいグリーンパワー株式会社 (代表取締役二見健太郎) は中西金属工業 (大阪市) の子会社で、併設のチップ製造工場のやまがたウッドチップセンター株式会社 (代表取締役中村孝雄) と合わせた総事業費は約 26 億円。長井市周辺から 12 人を雇用し、置賜産原木 (間伐材等由来の未利用木材等) を年間約 26,000 t の丸太利用を見込んでいます。



発電プラントは木質バイオマスガス化発電方式で、アップドラフト式のガス化炉で木質バイオマスを不完全燃焼させて可燃性ガスを取り出し、ガスエンジンを燃焼駆動して発電するものであります。含水率が 40~50% のチップでも炉に投入できるため、チップの乾燥施設が不要となります。24 時間連続で運転し、年間 310 日程度稼働で発電量約 1,480 万 kw 時となり、これは一般家庭約 3,000 世帯分に相当します。

式典では、長井市長が置賜地域で初めてとなる木質バイオマス発電所で、県の政策である「やまがた森林ノミクス」の一環として豊富な森林資源を森林の恵みとエネルギーとして利活用することで地域の活性化を目指すとし、再生可能エネルギーの利用を一層促進したいと挨拶した。

8 西川小で総合学習 (建前行事見学)

西川町間沢の(株)丸友製材の阿部友則常務 (37) が、西川小学校 3 年生 40 人の地域を知る総合学習の一環として町営住宅の建前行事 (上棟式) 見学会等を企画した。子供たちは事前に製材工場を見学し、西山スギが建築材になるまでの工程を学び、町内のみどり団地に新築している戸建賃貸住宅の建築現場で建前行事に参加し、2 階から撒かれた餅をみんなで拾いあっていた。



町が整備しているこの戸建賃貸住宅は、入居者が月額 7 万円の家賃を 25 年間払い続けると、建物・土地が譲渡される仕組みで、5 棟が建築され早ければ今秋にも引き渡される。

9 置賜「地材地住」ネットワークが山大工学部と協定

置賜「地材地住」ネットワーク (会長: 河内昭佐小国町森林組合長) と山形大学工学部 (飯塚博学部長) は、人材育成と研究開発などに関する連携協定を締結した。連携するのは、①木質資源活用のための教育と研究、人材育成②知的財産と人的・物的資源を活用した研究開発の推進③地域産材を活用した関連産業の振興・発展の 3 項目。山形大学では今年度工学部に建築・デザイン学科を新設しています。学生には、森林伐採や製材、木造建築など実務的な経験を積ませることで他大学との差別化を図るとしています。同ネットワークとしては、木材に精通した人材を育成し、木造建築と地域産材活用を促進したいと考えています。



ちなみに、同協定書 (米沢産ヤマザクラに文字を掘り込んだもの) は当組合副理事長相田吉則(株)アイタ工業社長の作品です。

10 平成 29 年度木材利用優良施設コンクールで 羽黒高等学校（鶴岡市）が林野庁長官賞受賞!!

この度、木材利用推進中央協議会主催（後援：林野庁）の平成 29 年度木材利用優良施設コンクールに本県から羽黒高等学校新校舎を推薦したところ、全国から 103 作品の応募があり審査の結果、学校法人羽黒学園羽黒高等学校新校舎が林野庁長官賞を受賞しました。

この施設は、RC 造の階段やトイレ等（耐火構造物部分）を挟み込むことにより国内初の木造 3 階建て校舎を



実現しています。つまり、

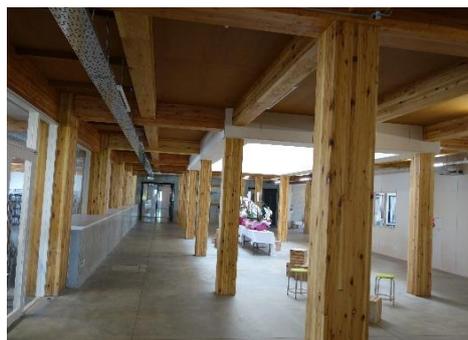
延床面積が 3,000 m² 超の木造校舎であることから、法 27 条に則り、3,000 m² 以内毎に区画することで 1 棟の建物としています。構造上は木造棟 3 棟と RC 造棟 2 棟の計 5 棟の建物となっています。新校舎は、延床面積 5,481 m² の 1 時間準耐火構造。黒と白のコンストラストが美しい箱型の建造物で、外からは大断面構造用集成材柱が見えます。また、

新校舎は縦 71.1m 幅 24.6m 高さ 12.4m の大型の木造施設で、1 階のカフェテリアの天井と 2 階の床の兼用として注目の CLT 部材を使用したことも話題となっています。

同校の創立は 1963 年、創業者の故秋元正雄氏が当初から実習の一つとしてスギの植林に取り組んできました。創立から 55 年を迎える今年 3 月、この時代に植えられ育まれた学校林が、新校舎に姿を変えました。使用した学校林は丸太換算で約 1,700 m³。製品換算では、柱や間柱、梁など 808 m³ となり、学校林の伐採量は 3,600 m³ に及んでいます。将来を担う高校生達の学び舎として、先輩達が



が植えて育てた学校林の 50 年生のスギやカラマツを集成材や CLT 部材としてふんだんに使用し、地域産の一般流通材でも工夫次第で極めて大きな木造校舎を建設できることが実証されたことは、地域の住民や関係者、設計者や工務店・建設会社などに大きな自信と誇りを持たせることに繋がり、さらに、学校創設直後に生徒が植えた学校林の木材を使用したことで、「木育」の観点からも高く評価される建物となっています。



11 木産協の大会・研修・会議等計画

	研修名称	内容(未定のものあり)	時期
1	東北地区原木流通会議	東北の原木流通関係情報交換会（盛岡市）	8.1
2	H29 山形県農林水産祭打合せ	食彩まつりと林業まつりの併催会議（県庁）	8.3
3	木産協三役会議	前期の状況報告と新規事業説明等（山形市）	8.18
4	木材利用推進構造設計研修会	大工・工務店等を対象とした研修会（山形市）	8.22

12 新会員紹介

NKC ながいグリーンパワー株式会社

代表取締役社長 二見健太郎

やまがたウッドチップセンター株式会社

代表取締役 中村孝雄

この度、木質ガス化バイオマス発電事業を営む「NKC ながいグリーンパワー」とながいグリーンパワー発電所用のチップ加工を行う「やまがたウッドチップセンター」が揃って山形県木材産業協同組合に入会させていただくこととなり有難うございました。今年の 7 月に竣工式を行い、売電を開始したばかりの会社ではございますが発電所の燃料チップの原料として年間約 2 万 5 千トンの丸太を取り扱う予定でございます。

今後は組合のお仲間に入れていただいたことにより、皆さまのお世話になることと存じます。われわれも経験豊かな皆様のご指導をいただきつつ、地域森林資源の活用とともに地域の活性化に資するため、微力ながら力を尽くす所存でございますので何卒よろしくお願いいたします。

協同組合やまがたの木乾燥センター

副理事長 栗本正幸

この度、山形県木材産業協同組合入会の機会を賜り感謝いたします。当組合は平成 23 年に製材所、森林組合、造林業者、併せて 11 社の組合員により発足いたしました。昨今の木材製品は、より工業製品化された品質、精度共に安定した物が望まれております。大工、工務店、ビルダー様に間違いの無い商品を提供してゆくことが命題であると考えております。東北で 2 機しかない高周波乾燥機を導入したのもその為です。これにより県産木材の高付加価値による提供が可能となります。皆様のご用命こころよりお待ちしております。最後になりますが、山形県木材産業協同組合入会を機に、山形県の林業の活性化に力を尽くすことをお約束して挨拶と致します。なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

13 日本百名山(山形県に6座)シリーズ紹介 No.3

月山 山形県の中央に位置する月山。標高 1,984m。山形県第 4 位の高峰です。標高 1,500m の湯殿山、418m の羽黒山とともに出羽三山のひとつに数えられ、修験者の山岳信仰の山として知られています。山頂に月山神社が鎮座し、多くの修験者や参拝者が訪れます。地学的には、以前は楯状火山(アスピーテ型)の代表で地学の教科書等に紹介されてきましたが、平成初めの調査で、頂上付近の輝石安山岩や爆発カルデラ地形などにより成層火山(コニーデ型)と変更されています。知っていましたか。登山コースは一般的な西川町志津口コースと鶴岡市羽黒山コースのほか本道寺口、岩根沢口、湯殿山口、肘折口など古からの登山コースもあります。今回は舗装道路でいける駐車場のある志津口コース(最短コース:2 時間 30 分)を紹介します。



山形駅から車で 1 時間 30 分。志津温泉を過ぎブナ林を抜けると間もなく夏スキー(4 月～7 月末)で有名な姥沢駐車場です。月山環境美化協力金 200 円とリフト代金として往復千円が必要です。歩き始めて 10 分くらいでリフト下駅に、7 分程で上駅に着きます。結構標高を稼げます。そこではもう高山植物がお出迎えです。チングルマ、ニッコウキスゲ、イワカガミ、ミヤマリンドウなど。お花畑の中の木道を 1 時間ほど歩くと尾根筋に出ます。そこから最後の急登を約 1 時間で山頂神社に着きます。山頂は神社敷地となっており、御祓料 500 円で参拝できます。



平成 29 年 6 月期の県内新設住宅着工戸数は 647 戸となり、対前月比 185.9%、対前年同月比 119.6%と大型連休等による 5 月の減少の反動が見られるのは例年のことです。しかしながら、相変わらず貸家需要に支えられているのは全国と同様です。全体でも累計対前年比が 99.7%と前年の好調を維持していることは明るい話題ではありません。

1 県内新設住宅着工戸数(平成 29 年 6 月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
6月	541	325	165	0	51	527	14	456	84.3%	354	13	89
28.1~6	2,404	1,437	644	7	316	2,373	31	2,120	88.2%	1,499	52	569
7月	648	348	215	1	84	637	11	548	84.6%	382	16	150
8月	491	288	171	2	30	472	19	430	87.6%	272	11	147
9月	501	249	205	2	45	501	0	440	87.8%	289	8	143
10月	652	252	329	2	69	645	7	526	80.7%	348	6	172
11月	515	256	173	0	86	509	6	414	80.4%	298	9	107
12月	464	216	193	2	53	455	9	397	85.6%	282	7	108
29.1月	243	144	69	1	29	243	0	207	85.2%	164	4	39
2月	282	164	74	1	43	279	3	257	91.1%	153	8	96
3月	310	193	61	13	43	308	2	275	88.7%	210	8	57
4月	566	277	169	0	120	564	2	471	83.2%	331	13	127
5月	348	249	36	25	38	345	3	321	92.2%	267	1	53
6月	647	320	266	0	61	637	10	520	80.4%	325	8	187
対前月比	185.9%	128.5%	738.9%	0.0%	160.5%	184.6%	333.3%	162.0%	-	121.7%	800.0%	352.8%
対前年同月比	119.6%	98.5%	161.2%	-	119.6%	120.9%	71.4%	114.0%	-	91.8%	61.5%	210.1%
28.1~当月計	2,404	1,437	644	7	316	2,373	31	2,120	88.2%	1,499	52	569
29.1~当月計	2,396	1,347	675	40	334	2,376	20	2,051	85.6%	1,450	42	559
対累計前年比	99.7%	93.7%	104.8%	571.4%	105.7%	100.1%	64.5%	96.7%	-	96.7%	80.8%	98.2%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成 29 年 6 月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	647	2,396	119.6%	99.7%	2,051
山形市	150	569	137.6%	105.2%	466
上山市	6	49	75.0%	106.5%	48
天童市	56	234	109.8%	118.8%	179
山辺町	11	25	57.9%	56.8%	24
中山町	5	12	100.0%	34.3%	12
東南村山	228	889	118.8%	103.0%	729
寒河江市	31	95	86.1%	90.5%	86
河北町	9	35	56.3%	89.7%	33
西川町	1	3	100.0%	150.0%	3
朝日町	0	2	-	33.3%	2
大江町	3	13	300.0%	92.9%	12
西村山郡	44	148	81.5%	89.2%	136
村山市	6	24	60.0%	57.1%	22
東根市	49	241	181.5%	113.7%	233
尾花沢市	2	40	40.0%	137.9%	40
大石田町	1	5	100.0%	166.7%	3
北村山	58	310	134.9%	108.4%	298
村山地域	330	1,347	114.2%	102.4%	1,163
新庄市	27	60	135.0%	77.9%	56
金山町	0	1	-	-	1
最上町	2	9	66.7%	128.6%	7
舟形町	2	4	200.0%	133.3%	4
真室川町	8	9	200.0%	128.6%	9

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	1	-	100.0%	1
鮭川村	1	2	-	100.0%	2
戸沢村	0	0	-	-	0
最上地域	40	86	142.9%	88.7%	80
米沢市	81	275	426.3%	159.0%	158
南陽市	16	91	66.7%	109.6%	89
高島町	7	29	77.8%	59.2%	29
川西町	4	13	57.1%	52.0%	12
東南置賜	108	408	183.1%	123.6%	288
長井市	4	50	44.4%	100.0%	47
小国町	1	5	50.0%	100.0%	5
白鷹町	8	19	133.3%	95.0%	18
飯豊町	3	7	150.0%	87.5%	7
西置賜	16	81	84.2%	97.6%	77
置賜地域	124	489	159.0%	118.4%	365
鶴岡市	33	198	51.6%	79.5%	191
三川町	5	13	125.0%	65.0%	12
庄内町	4	27	23.5%	65.9%	26
田川	42	238	49.4%	76.8%	229
酒田市	109	229	181.7%	87.1%	207
遊佐町	2	7	200.0%	116.7%	7
飽海	111	236	182.0%	87.7%	214
庄内地域	153	474	104.8%	81.9%	443

注:累計は平成 29 年 1 月~

